



旧東伏見宮葉山別邸 改修現場見学会

日時：2025年4月5日（土）10:30 JR逗子駅東口集合
バス逗12（海岸回り）葉山（一色）ゆき

住所：神奈川県三浦郡葉山町堀内1968

主催：新建築家技術者集団 東京支部、共催：神奈川支部

定員：15名

参加費：1000円（会員）、2000円（非会員）

申込方法：新建東京支部事務局へmail

shinken-tokyo@group.email.ne.jp

1914（大正3）年に竣工。建物は、木造2階建てで銅板葺。緑青と言われる銅が酸化した深みのある色の屋根と、白色の端正なドイツ下見板張りの外壁が特徴的（地元の愛称は「葉山のカサブランカ（白い家）」）。

戦後は、イエズス孝女会による管理運営に引き継がれ、修道院として使われていました。隣には同会が運営する幼稚園の園庭があるので、園児や卒園児、保護者には馴染みの存在ですが、常に公開されているものではなく、「知る人ぞ知る」建物というのがまた、別邸の奥ゆかしさだったりします。

別邸は、2017年に国登録有形文化財に指定され、今年で竣工110年。これまで、イエズス孝女会のシスター達がなんとか守り継いできましたが、古い建築物がぶつかる大きな壁、維持管理の課題に直面しています。資金面でも負担が大きく、かつては解体の選択肢も浮上していました。

そこで地元の別荘文化を後世に伝えるべく活動しているNPO法人葉山環境デザイン集団や建築の専門家、地元プレイヤーなどと手を取り合って、保存に関する寄付金の運用や資金調達、実際の保全を手掛ける団体（一般社団法人La Casa Blanca Hayama）が立ち上がりました。

その代表理事である丸谷博男氏の案内で、改修中の見学会を行います。奮ってご参加ください。